

Hello

2003

5

No.232

friends

KANAGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
NEWSLETTER

(財)神奈川県国際交流協会 〒247-0007 横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ 6階 045-896-2626

2003年度の神奈川県国際交流協会の主な事業 2003年4月 ~2004年3月

神奈川県国際交流協会は、2003年4月より、県立地球市民かながわプラザ（あーぢ ぷいぢ）の施設運営を含めた全事業を神奈川県から受託することになりました。あーぢ ぷいぢの施設資源を最大限に生かして、NGOやボランティア団体との協働事業を積極的に推進し、広域的な事業展開を図るため、ITの活用やアウトリーチ事業の充実を目指します。

具体的にはあーぢ ぷいぢの施設を活用した市民企画型の事業を拡充するとともに、NGOや教育関係機関等との協働事業を一層推進します。また、協会とあーぢ ぷいぢのホームページのデザインを一新するとともに、あーぢ ぷいぢの館外で活用できる地球市民学習教材を開発します。各事業の詳しい内容については、今後発行される「Hello Friends」紙上でご案内します。

セミナー・講座

英会話講座（春期・秋期）

●国際交流・国際理解に必要な英会話を学びます。神奈川と友好提携を結ぶ米国・メリーランド州から来た「第二言語としての英語（ESOL）」専門講師が担当します。

ことばと文化セミナー

●アジアや中南米などのことばと、その文化を学びます。春期は、インドネシア語、コリア語、スペイン語。

食と暮らしの体験セミナー

●「食」を通じて、文化の多様性について学ぶセミナーを開催します。

あーすシアター上映会

●世界の様々な文化を学ぶため、毎月1回映画の上映会を開催します。

留学生トークタイム

●あーぢ ぷいぢ「こどもの国際理解展示室」において、アジアや中南米からの留学生が、生活文化の紹介を行います。

こども地球市民クラブ（夏休み・春休み）

●こどもを対象に、民族楽器等の演奏を通じた多文化理解イベントを実施します。

地球市民学習指導者養成講座

●地球市民学習の実践に必要な考え方と具体的なノウハウを提供するセミナー「まなびの道具箱」と、表現教育の実践に役立つ「コミュニケーション能力開発セミナー」を開催します。

イベント・企画展示

あーすフェスタかながわ2003

●「多文化共生」をテーマに、シンポジウムや民族芸能ステージなどを開催します。

地球市民フォーラム

●「環境と私たちの暮らし」をテーマにシンポジウムやセミナーを開催します。

カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展

●県内各地で、第12回児童画展の入選作品の巡回展を行います。

展示企画事業「百年の愚行」展

●戦争、迫害、乱開発など、20世紀に人類が行った愚行を、写真を通じて考える展示会を開催します。

国際交流・協力ポスター作文コンテスト

●県内の学校からポスター・作文を募集・審査を行うとともに、作品展を開催します。

NGO等への支援・協働

民際協力基金による助成・協働事業

●国際協力活動を行うNGOに資金助成します。助成申請受付は、春（4～5月）と秋（10～11月）の2回。また、地域の国際化に関わるプロジェクトの企画を公募し、協働して実施します。

NGO等共同研究事業

●「外国人児童生徒教育と異文化理解教育の節合」をテーマに検討を行う検討委員会を設置し、調査研究等を行います。

県内国際交流協会連絡協議会

●県内市町国際交流協会職員の情報交流と研修を行います。

情報提供・相談

インターネットを活用した情報発信

●協会・プラザのホームページのデザインを一新しました。メールマガジンは月2回発行します。

情報誌の発行

●協会機関誌「Hello Friends」「サラダボウル」〈ともに隔月〉、「地球市民レポート」〈年3回〉を発行します。

その他

地球市民学習教材の収集と開発

●開発・環境・人権・平和教育等の地球市民学習に関わる教材・資料を収集し、あーぢ ぷいぢ内に閲覧スペースを設置するとともに、学校・NGOが行う国際理解教育の場で活用できる、あーぢ ぷいぢの館外貸出教材を開発します。

神奈川県国際研修センターの運営

●神奈川県が受け入れる主にアジアからの技術研修員や留学生の宿泊・研修施設（横浜市旭区）を運営します。各種研修・地域との交流事業なども実施します。

神奈川県国際学生会館の運営

●私費留学生の長期宿泊施設（横浜市旭区、相模原市）を運営します。

あーすフェスタかながわ2003開催

多様な文化と価値観をもつ人びとがいきいきと暮らせる“多文化共生社会”の実現をめざして開催するイベントです。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

主なプログラム

5月10日(土)

開会式

基調講演会「多文化共生のまちに生きて—私の多文化体験—」

講師:作家・山崎洋子さん

こどものステージ 「このゆびと〜まれ!」(世界のこどもたちのステージ発表)

首都圏外国籍住民会議

VSライブ決定版!(弦楽器や太鼓などの各国の楽器の聞き比べ)

5月11日(日)

日本語スピーチフォーラム

YOUTH HOUR(ゆーす・あわー)(多国籍のこどもたちによる、音楽・舞踊の発表)

あーすミュージックフェスティバル(世界各国の音楽の競演)

あーすダンスフェスティバル(各国の民族舞踊の競演)

おどりのワークショップ

5月10日・11日(両日)

民族文化紹介展示

多文化体験お料理教室【事前申込制】

世界屋台村(世界各国の民族料理屋台村)

ワールドバザール(世界各国の民芸品・工芸品のバザール)

●と き : 5月10日(土) 11:00~17:00 / 5月11日(日) 10:00~16:00

●と ころ : あーす 355, リリス(JR根岸線「本郷台駅」徒歩3分)

●問 合 せ : あーすフェスタかながわ2003実行委員会(県国際課内) TEL: 045-210-3748

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kokusai/earthfest/earthfestindex.htm>

地球市民学習リーダーセミナー

「まなびの道具箱」スタート

「開発」「環境」「人権」「平和」など、地球的規模の課題解決に向けて地域から行動する意識を育てる「地球市民学習」を広く紹介し、実践に必要な考え方と具体的なノウハウを提供する「まなびの道具箱」を今年も5月からスタートします。(月1回程度、全6回)

第1回 クラフト教材で遊ぼう!

欧米では、子ども(幼児~小学生)向けの開発教育教材として、早くからペーパー・クラフトやポップアップ絵本が活用されています。このセミナーでは、英国や米国で入手したユニークな教材をご紹介しますとともに、大人にとってはちょっと懐かしい「工作」に挑戦し、地球市民学習教材としての「ペーパー・クラフト」の可能性を探ります。子どもにまけない「遊びごころ」を持ってご参加ください。



●と き : 5月31日(土) 13:30~15:20

●と ころ : あーす 355 1階 ワークショップ・ルーム(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)

●内 容 : 海外のクラフト教材、ポップアップ絵本などの紹介と工作

●対 象 : 教育関係者、NGO関係者、一般

●講 師 : 木下理仁(神奈川県国際交流協会職員)

●定 員 : 30名(申込先着順)

●参加費 : 無料

●申込方法 : ①講座名、②氏名(ふりがな)、③所属(学校名や団体名)、④連絡先(電話、FAX、Eメール)をすべて明記して、電話/FAX/Eメールでお申し込みください。ご参加いただけない場合のみ、ご連絡します。5月6日(火)より受付。

●申込先 : 企画情報課(担当:山内)
TEL:045-896-2896 FAX:045-896-2945
E-mail: kikaku@k-i-a.or.jp

教材開発ボランティア募集

神奈川県国際交流協会では、今年度、地球市民学習の教材として、アジアの生活文化を学ぶための「ペーパー・クラフト」を開発します。「タイの民家」をはじめとする、あーす 355・こどもの国際理解展示室の展示資料をもとに、アジアの生活風景をクラフト化し、主に小学生を対象とした地球市民学習(国際理解教育)の教材として使えるものを作りたいと考えています。

協会では、この教材の開発に、ボランティアとして協力して下さる方を募集します。小学校の先生や、アジアの生活文化に詳しい方のご参加をお待ちしています。

●参加条件 : 地球市民学習の実践に強い関心があり、あーす 355 で行う月1~2回のミーティングに積極的に参加できる方。交通費等の支給はありません。

●活動期間 : 2003年6月~9月頃

●募集人数 : 6名程度

●問合せ : 国際協力課(担当:木下)

TEL:045-896-2964



「タイの民家」のペーパークラフト(試作品)

ボランティア募集説明会

今回 の教材開発のねらいや進め方についての説明会を開きます。なお、当日は、この説明会に先立って、地球市民学習リーダーセミナー「クラフト教材で遊ぼう!」もありますので、ぜひ、合わせてご参加ください。

●と き : 5月31日(土) 15:30~16:00

※セミナーは、同日13:30~15:20

(左記事参照)

●と ころ : あーす 355 1階 ワークショップ・ルーム

(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)

かながわ民際協力基金 4つのプロジェクトへの助成を決定

NGOの国際協力活動の支援を目的とした「かながわ民際協力基金」による、2002年度後期の助成対象事業が決まりました。「障害者の自立」「難民の人権擁護と自立支援」「外国籍の子どもたちの教育」「南北問題の学習」など、いずれも今の時代の切実な課題に取り組むプロジェクトです。

これまでの「マジカルバナナ」



ルワンダの義肢装具製作の様子



ルワンダにおける巡回診療による義肢装具製作及び配布

団 体 : ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
(代表 ルダシグワ真美)

助成額 : 220万円

アフリカのルワンダで、内戦、疾病、事故などにより上下肢に障害を負った人々に、義肢装具を提供し、自立を支援するための巡回診療を行う。日本から派遣された技師装具士1名と現地の技術者7名が、診察及び義足等の製作を行う。

日本国内に在住する難民への相談業務及び神奈川県内の支援ネットワークの構築

団 体 : (特活)難民支援協会
(代表代行 吉山 昌)

助成額 : 105万円

避難先である日本において、公的な支援が得られず困難に直面している難民を対象として、法律相談と生活自立支援を行う。また、インドシナ難民や外国籍住民への支援を行っている神奈川のNGOや自治体とネットワークを築き、地域から難民保護の発展を促進していく。

「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス

団 体 : 多文化共生教育ネットワークかながわ(代表 高橋 徹)

助成額 : 30万円

ニューカマーの子どもたちの高校進学にとまなう入試、学校の選択、学習方法、資金、入学後の生活などについて、翻訳資料を用い、各国語の通訳を介しての相談会を実施する。また、相談のための資料として「高校進学ガイドブック」を作成し、県内の中学校や外国人支援団体に配布する。

開発教育教材「マジカルバナナ」改訂版制作

団 体 : (特活)地球の木
(理事長 横川芳江)

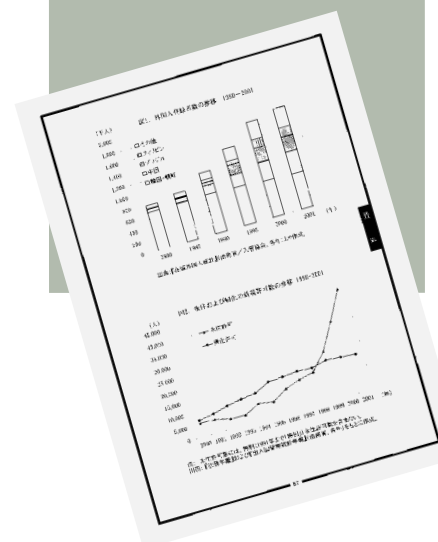
助成額 : 54万円

同団体が1998年に制作した、「バナナ」を題材に国際社会の問題について学ぶ開発教育教材「マジカルバナナ」を、現地調査等に基づく最新の情報を盛り込みながら、より幅広い層に対応できるように改訂する。

報告書

多文化共生教育をめぐる課題と展望

～情報共有、学校と地域の連携の問題をめぐって～



「多文化共生教育をめぐる課題と展望」 ～情報共有、学校と地域の連携の問題をめぐって～

協会では昨年度、2001年度に次いで、「国際教室」担当の先生たちや、日本語指導協力者、そして教育委員会で外国人児童生徒教育の分野に携わる人たちとともに、「総合的な国際理解教育教材情報整備のための検討委員会」という場において、「情報共有」と「学校と地域の連携」の二つのテーマをもとに議論を重ねました。

「情報共有」に関しては、2001年度の議論を受けて、国際教室などで活用できる教材情報をWEB化するための議論をおこないました。3月号でお知らせしたとおり、すでにWEBは公開されており、<http://www.k-i-a.or.jp/materials/>でご覧いただけます。

「学校と地域の連携」に関しては、2003年2月22日に「学校と地域をつなぐ、かながわ多文化共生フォーラム」の企画に関する議論をおこないました。フォーラムには、100人を超える学校関係者、教育委員会指導主事、NGO関係者、外国人市民、学識経験者などが集い、横浜市立いちょう小学校、大和市立下福田中学校、横浜市立港中学校などにおける学校と地域の連携に関する先進事例をもとに、課題と展望について実りの多い意見交換をおこなうことができました。この報告書は、第1章で「情報共有」についての議論のまとめと教材情報を、第2章で「フォーラム」の記録と資料を掲載しています。なお、第2章には、フォーラムの企画からアドバイスをくださった山脇啓造さん(明治大学)による論文「多文化共生社会に向けて—外国人・地域・学校—」も併せて掲載されています。関心のある方は、以下の要領でお申し込みください。

●返信用封筒(A4が入るサイズ)に390円切手を貼って報告書送付希望と明記の上、協会宛にお送りください。

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 あーす 355 1階

神奈川県国際交流協会 企画情報課

●問合せ : 企画情報課 E-mail:kikaku@k-i-a.or.jp TEL:045-896-2896

展示スタッフ(ボランティア)募集

あーだ 355では、現在、66人の展示スタッフが国際理解、国際平和、子どもファンタジーの各展示室で、来館者の皆さんに、世界の人々の暮らしや文化、国際平和、地球規模の課題について理解を深めていただくための活動をしています。下記の詳細で、新たにスタッフを募集しますので、興味のある方はお申し込みください。

●活動内容

- 子どもファンタジー展示室
 - ・ 子どもの表現活動補助
 - ・ 安全管理 や展示物を使った活動など
- 子どもの国際理解展示室、国際平和展示室
 - ・ 展示案内 など

●応募資格

- ①子どもの表現活動に対して関心や知識、経験のある方
- ②18歳以上で県内在住・在勤・在学いずれの方(国籍は問いません。)
- ③火曜から日曜までのいずれかの曜日に活動できる方(月曜休館 祝日開館)
- ④月3回程度活動できる方
- ⑤研修に参加可能な方
(基礎研修は6月14日(土)、21日(土)、28

日(土)に実施予定)

⑥事前に あーだ 355 常設展示室をご観覧ください。(有料大人500円)

●募集期間：5月18日(日)まで

●選考方法：書類審査と面接(6月7日(土)に実施予定)により選考

●活動費助成：交通費などの実費として1回の活動について1,000円助成します。

●申込み：所定の申込書に必要事項をご記入の上、当協会までお送りください。申込書は、あーだ 355 ホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.k-i-a.or.jp/plaza/>

●問合せ：地球市民学習課(担当:矢澤)
TEL: 045-896-2898

「第12回カナガワビエンナーレ国際児童画展」巡回展

4月26日(土)から5月11日(日)まで あーだ 355 にて開催される第12回カナガワビエンナーレ国際児童画展は、6月から12月までの間、県内8市4町との共催により、巡回展示されます。世界各地から応募された児童画は、それぞれの国や地域の暮らし、文化をご理解いただくうえで大変貴重なものですので、是非ご覧ください。

開催場所	問合せ先	開催期間および時間
1 寒川総合体育館ロビー	寒川町企画課	6/6～6/11(6/9除く) 9:00～16:00
2 茅ヶ崎市役所ロビー	茅ヶ崎市文化推進課	6/16～6/20 8:30～17:00
3 大和市役所ロビー	大和市広聴相談課	6/30～7/4 9:00～16:30
4 南足柄市役所アトリウム	南足柄市市民文化課	7/16～7/25 9:00～17:00 (7/19～21除く、7/25は15:00まで)
5 大井町立中央公民館	大井町総務課	8/6～8/13(8/11除く) 8:30～17:00
6 ハーモニーホール座間	座間市渉外課	8/29～9/4(9/1除く) 10:00～17:00
7 愛川町立文化会館	愛川町生涯学習課	9/10～9/20(9/16除く) 9:00～17:00
8 藤沢市民ギャラリー	藤沢市生涯学習課	9/23～9/28 10:00～19:00
9 小田原市民会館	小田原市市民交流課	11/11～11/16 9:00～19:00
おだわら国際交流ラウンジ	小田原市市民交流課	11/11～11/16 9:00～21:00
10 横須賀市役所本館	横須賀市国際交流課	11/25～11/28 8:30～17:00
11 逗子市役所市民ホール	逗子市秘書課	12/1～12/5 8:30～17:00
12 葉山町立図書館	葉山町企画課	12/13～17(12/15除く) 9:00～18:00

●神奈川県国際交流協会(KIA)は—地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人とのつながりを大切に「国際交流」「国際協力」を推進するさまざまな事業を展開しています。

●あなたも会員になりませんか?

★学生会員制度もスタート!

協会の活動を支える会員を募集しています。会員になると

- ①協会が主催する各種催しや国際交流団体、NGOの催し情報、ボランティア情報を掲載した『HelloFriends』『サラダボウル』をお送りします。
- ②当協会の出版物の割引サービスが受けられます。
- ③会員の方を対象にした催しへご招待します。
- ④『エスニック・レストラン・マップ』をお送りします。
- ⑤会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。
- ⑥あーだ 355 のレストラン「メルヘン」でお食事の場合、会員証の提示で、コーヒー、紅茶、グラスワイン、ソフトドリンクの一品サービスが受けられます。
- ⑦あーだ 355 ショップ「ベルダ」で2,000円以上(税別)購入の場合、会員証の提示で10%割引が受けられます。

年会費：一般	3,000円から
学生	1,500円から
団体	10,000円から

*会員登録をご希望の方は、協会までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

★当協会は、2003年4月より、あーだ 355 の施設運営を含めた全事業を神奈川県から受託しました。



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川県国際学生会館を運営しています。

Hello friends

2003年5月1日発行
第232号

発行/財団法人 神奈川県国際交流協会
〒247-0007
横浜市栄区小菅ヶ谷一丁目2番地1号
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階
045-896-2626 FAX.045-896-2945
URL:<http://www.k-i-a.or.jp>
E-mail:kikaku@k-i-a.or.jp
印刷/吾妻印刷株式会社

現代の国際紛争の勝敗は、情報戦に左右されると言われる。一九九〇年イラクのクウェート侵攻後、米議会の公聴会で、深なからにイラク兵の残虐行為を訴えた少女ナイコの証言は、全米のメディアを通じて報じられ、イラク戦争やむなしの世論形成に大きな役割を果たした。その後、NYタイムズ記者の調査により、ナイコ証言は、全くの事実無根であることが判明する。この情報工作を影で演出したのは、米大手PR会社のヒル&ノートン社で、依頼主は、クウェート政府のロビー活動団体と見られるNPO 自由クウェート市民であった。湾岸戦争後、ヒル&ノートン社の活動は批判的となるが、紛争当事国をクライアントとするPR会社の活動が休止に追い込まれることはなかった。ポスニア紛争では、米国のルーサー・ブライソック、ポスニアヘルツェゴビナ政府の依頼により、各国の政府要人やマスメディアに対してPR活動を展開し、「セルビア人」民族浄化に奔走する「民族」とのイメージ形成に成功したとされている。マルチメディア時代が到来したといえ、国際世論の動向を左右するマスメディアの影響力は依然として大きい。私たちに、マスメディアが「現実」を、地球益の視点から検証する術はないのだろうか。ビデオジャーナリストの神保哲生は、世界各地の取材映像を、ウェブサイトを通過して配信する試みを始め、オルタナティブメディアの可能性に期待したい。(企画情報課長 小山紳郎)

※キャラバン・サライとは、かつてシルクロードにあった隊商宿。文化・情報の中継点となっていました。協会職員からのメッセージ発信の場となるよう名付けました。